

常盤台一・二丁目町会マンスリー

2026年3月号 No.75



(HP) <https://tokiwadai12.com> (町会名で検索可)

Facebook: 常盤台一二丁目町会 TEL/FAX: 03-3969-8121

イルミネーション消灯式 26.2.8

昨年11月9日(日)のマルシェ&点灯式から3カ月間、年末年始にときわ台駅北口ロータリーを美しく飾ったイルミネーションの消灯式が2月8日(日)に行われました。(マルシェ同時開催)

当日は、前夜から雪が降り続き、東京都心で約5センチの積雪を観測。天候が心配されましたが、雪景色ときわ台駅前ロータリーはユニークで美しく、幸い多くの人が集まりマルシェ&消灯式を楽しみました。

参照: 常盤台駅前商店街振興組合 HP <https://tokiwadai-ekimae.shop/>



株式投資入門 (2)

－ 今の市場水準をどうみるか？

まず、今の日本の株式市場の水準は割安と言えるか？を日経平均から点検してみましょう。

当然のことながら市場にどう向き合うか、投資スタンスは市場の水準によって変化します。

株式市場全体が割安であれば日経平均、東証株価指数(TOPIX)、S&P500 などのインデックスへの投資が考えられます。

しかし市場全体の水準が割高であれば、個別の割安株への投資がより安全と言えます。

この割安、割高の判断で重要なのが前回述べた、ROE、PBR、PER の3つの指標です。特にROEとPBR。

日経平均の ROE は 11.4%、PBR は 1.8 倍、PER は 20.2 倍です。(26.2.24 現在)

ROE が 10 年国債利回 2.1% に 6～8% を加えた 8～10% 以上であれば投資対象になります。

次に見るべきは PBR です。PBR は一株当り簿価に対して株価が何倍でついているかを表します。一株当り簿価というのは、大まかに一株当

りの解散価値。つまり今会社を解散して株主にお金を返すとしたらいくらになるかです(わかり易さのために単純化しています)。日経平均の PBR は 1.8 倍、つまり解散価値の 1.8 倍で株価がついている。利益が ROE 11.3% で年々成長すると 6 年弱で株価に等しい解散価値になります。

これは覚えておいて欲しいのですが、簡便法として「73」を ROE で割った数字が一株当り簿価(解散価値)が 2 倍になる大まかな年数です。

$$73 \div 11.4 (\%) \doteq 6.4$$

$$6.4 \div 2 \times 1.8 \doteq 5.8$$

一株当り簿価(≒解散価値)が今の株価になるには 6 年近くかかる。これをどうみるかは個々の投資家の判断ですが、平均的には必ずしも割安では無い、というのが私の感覚です。(※投資は自己責任)

	日経225	TOPIX	S&P500
PER	20.2倍	19.2倍	23.5倍
PBR	1.8倍	1.8倍	4.9倍
ROE	11.4%	9.3%	20.9%

(2026/2/24現在 SMBC日興証券調べ)

(注) TOPIX: 東証株価指数